

GSビッグデータ・
ストラテジー(外国株式)

償還日(2024年2月8日)	第13期		
償還価額	18,752.08円	騰落率	3.7%
純資産総額	1,281百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	2024年2月8日(繰上償還日)まで
運用方針	主として日本を除く世界各国の株式に投資し、MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)をベンチマークとして信託財産の長期的な成長をめざします。計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時に、ポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行います。
主要投資対象	
本ファンド	コクサイ計量株式マザーファンドの受益証券
コクサイ計量株式マザーファンド	日本を除く世界各国の株式
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ③本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末(毎年6月25日および12月25日。休業日の場合は翌営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

追加型投信/海外/株式

第13期(信託終了日2024年2月8日)

作成対象期間:2023年12月26日~2024年2月8日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GSビッグデータ・ストラテジー(外国株式)」は、ビッグデータやAI(人工知能)を活用した独自開発の計量モデルを用いて、多様な銘柄評価基準に基づき日本を除く先進国の株式の幅広い銘柄に分散投資することにより、長期的にベンチマークを上回る投資成果を獲得することをめざして運用を行ってまいりましたが、2024年2月8日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)
受付時間: 営業日の午前9時~午後5時 | www.gsam.co.jp

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 引 前 分 配 金	期 騰 落 中 率	ベンチマーク	期 騰 落 中 率	株 式 組 入 比 率	純 資 産 総 額
(設 定 日) 2017年12月19日	10,000	—	—	10,000	—	—	1,702
1 期 (2018年6月25日)	10,171	0	1.7	9,959	△ 0.4	99.6	3,289
2 期 (2018年12月25日)	8,277	0	△18.6	8,597	△13.7	99.1	2,303
3 期 (2019年6月25日)	9,746	0	17.7	10,391	20.9	99.2	2,368
4 期 (2019年12月25日)	10,595	0	8.7	11,538	11.0	100.0	2,049
5 期 (2020年6月25日)	9,528	0	△10.1	10,585	△ 8.3	99.5	1,607
6 期 (2020年12月25日)	11,163	0	17.2	12,637	19.4	99.8	1,491
7 期 (2021年6月25日)	13,928	0	24.8	15,636	23.7	99.4	1,679
8 期 (2021年12月27日)	15,213	0	9.2	17,367	11.1	99.7	1,725
9 期 (2022年6月27日)	14,341	0	△ 5.7	16,924	△ 2.6	99.5	1,518
10期 (2022年12月26日)	14,129	0	△ 1.5	16,665	△ 1.5	99.7	1,412
11期 (2023年6月26日)	16,931	0	19.8	20,389	22.3	99.4	1,598
12期 (2023年12月25日)	18,087	0	6.8	22,204	8.9	99.3	1,629
(償 還 日) 13期 (2024年2月8日)	(償還価額) 18,752.08		3.7	23,963	7.9	—	1,281

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース））は、2017年12月19日を10,000として指数化しております。

(注3) 株式組入比率には投資信託証券を含みます。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は、実質比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	ベンチマーク	騰 落 率	株 式 組 入 比 率
(期 首) 2023年12月25日	18,087	—	22,204	—	99.3
12月末	18,140	0.3	22,314	0.5	99.6
2024年1月末	18,759	3.7	23,654	6.5	—
(償 還 日) 2024年2月8日	(償還価額) 18,752.08	3.7	23,963	7.9	—

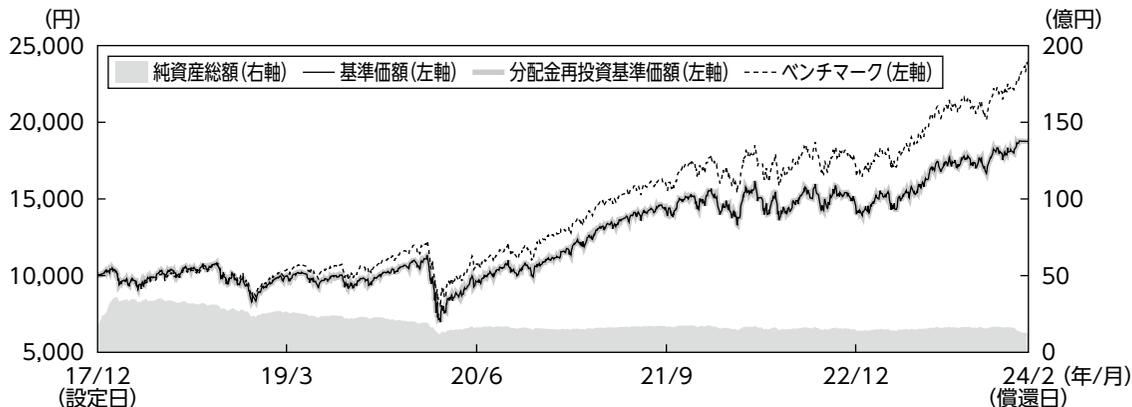
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース））は、2017年12月19日を10,000として指数化しております。

(注3) 株式組入比率には投資信託証券を含みます。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は、実質比率を記載しております。

■設定以来の基準価額等の推移について（2017年12月19日～2024年2月8日）



- (注1) ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）です。MSCI およびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、設定日の基準価額を起点として指数化しています。

■前作成期末までの運用状況（2017年12月19日～2023年12月25日）

○投資環境

<外国株式市場>

外国株式市場は上昇しました。

2017年12月から2020年2月にかけては、米国債の利回り急上昇や米中貿易摩擦問題を背景に下落する局面もありましたが、緩やかな上昇基調となりました。2020年2月下旬になると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に外国株式市場は急落しました。2020年3月下旬以降は、大規模な資金供給策やワクチンの開発・実用化、経済活動再開の動きが相次ぎ、2021年末にかけて上昇基調が継続しました。

2022年になると、ロシアのウクライナ侵攻や中国での新型コロナウイルスの感染拡大を背景としたサプライチェーンの混乱懸念、世界的なインフレの高進、米欧の金融システム不安の台頭などを背景に2022年10月にかけて下落基調となりました。

2022年10月以降は、米国の物価関連指数が市場予想を下回ることが相次ぎ、利上げペースが鈍化するとの期待から、外国株式市場は買い戻しの動きが強まりました。2023年8月になると、米国債の格下げや中国不動産大手の信用不安、10月にはハマスとイスラエルの武力衝突などの影響で、外国株式市場は一時的に軟調な動きとなりましたが、11月になると上昇を続けていた米金利がピークアウトしたとの見方が広がり、2024年以降の利下げへの期待感から、2023年末にかけて再び上昇基調となりました。

<外国為替市場>

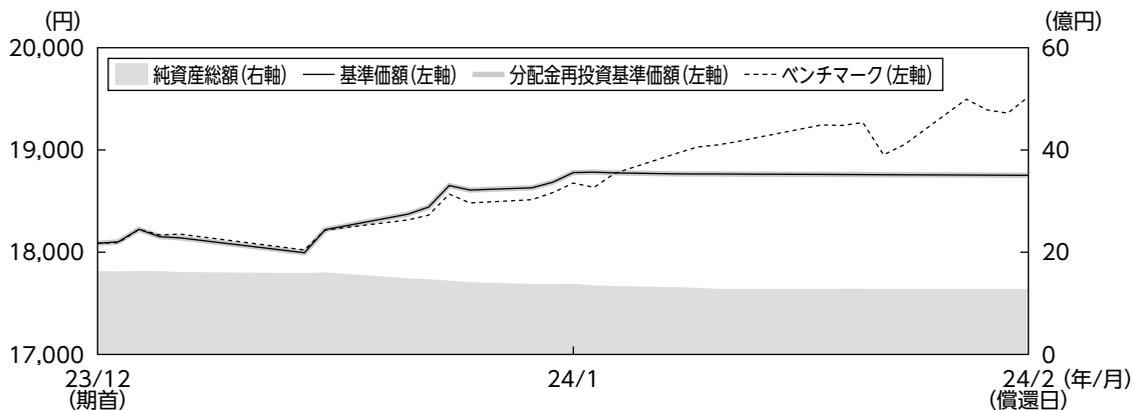
外国為替市場では、米ドル、ユーロ、英ポンドは円に対して上昇しました。

○運用状況【第1期～第12期】（2017年12月19日～2023年12月25日）

本ファンドはコクサイ計量株式マザーファンドを通じて、日本を除く先進国の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。その結果、当該期間の本ファンドのパフォーマンスは80.9%となりました。一方、ベンチマークのパフォーマンスは122.0%でした。

■当期の運用経過

◆基準価額等の推移について（2023年12月26日～2024年2月8日）



第13期首：18,087円

償還日：18,752円08銭

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：+3.7%（分配金再投資ベース）

（注1）ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）です。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額、ベンチマークは、期首の基準価額を起点として指数化しています。

（注5）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

◆基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の18,087円から上昇し、償還日には18,752円08銭となりました。

上昇要因

各国株式市場の上昇や、アメリカ、カナダにおける銘柄選択効果がプラス寄与となったことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

スイスにおける銘柄選択効果がマイナス寄与となったことなどが基準価額の下落要因となりました。

◆投資環境について

<外国株式市場>

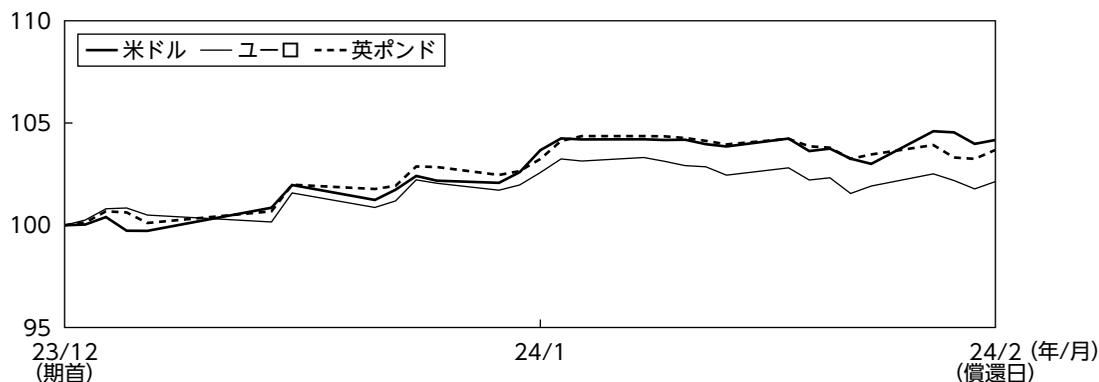
当期の外国株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。

1月上旬は、米ハイテク関連銘柄の下落や、米金融当局の発言から利下げに対する慎重な見方などが市場の重しとなり、その後米ハイテク関連銘柄が上昇したものの、外国株式市場は小幅下落となりました。1月中旬は、米ハイテク関連銘柄への期待が継続したことなどから外国株式市場は小幅上昇となりました。1月下旬から2月上旬は、1月末のFOMC（米連邦公開市場委員会）で早期利下げに慎重な姿勢が示されましたが、米ハイテク企業の決算発表を前に好業績期待が高まったことなどが市場を支え、外国株式市場は上昇しました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、米ドル、ユーロ、英ポンドは円に対して上昇しました。

○為替レート（対円）の推移



(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

出所：一般社団法人投資信託協会

◆ポートフォリオについて

＜本ファンド＞

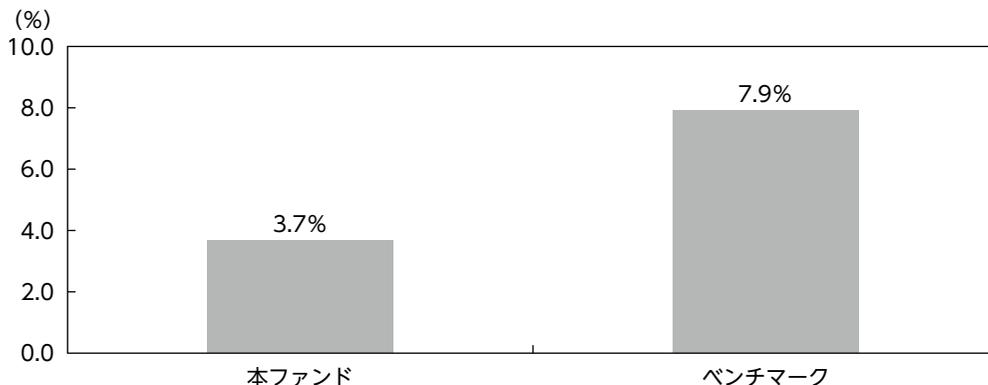
コクサイ計量株式マザーファンドを通じて、日本を除く先進国の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。また、1月中旬以降は、繰上償還に向けて本マザーファンドにおいて現金化を行いました。

＜本マザーファンド＞

本マザーファンドでは、日本を除く先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）を長期的に上回る投資成果を獲得することをめざしました。また、1月中旬以降は、繰上償還に向けて現金化を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

＜当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）＞



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）です。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+3.7%となり、ベンチマーク（+7.9%）を下回りました。

当期はアメリカ、カナダにおける銘柄選択効果がプラス寄与となった一方、スイスにおける銘柄選択効果はマイナス寄与となりました。加えて、1月中旬以降はファンドにおける資産を現金化したため、株式市場の上昇に対して劣後する結果となりました。以上のような運用の結果、信託期間終了時における償還価額は18,752円08銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2024年2月8日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。本ファンドを長らく保有頂きました受益者の皆様のご愛顧に感謝いたします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年12月26日～2024年2月8日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	31円 (15)	0.166% (0.081)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価
(販売会社)	(15)	(0.081)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
(受託会社)	(1)	(0.004)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 (株式)	2 (2)	0.013 (0.013)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.004 (0.004)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (2) (2)	0.024 (0.012) (0.012)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	38	0.207	
期中の平均基準価額は18,449円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

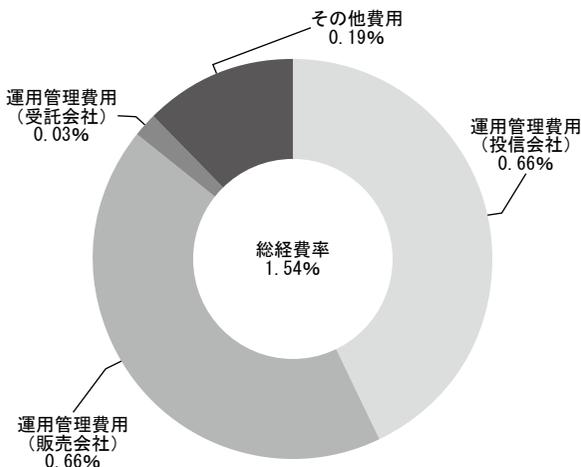
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 株式には投資信託証券を含みます。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.54%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2023年12月26日から2024年2月8日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
コクサイ計量株式マザーファンド	千口 1,320	千円 2,861	千口 769,465	千円 1,699,665

■親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	コクサイ計量株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	3,419,316千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	3,307,419千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.03

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 株式には投資信託証券を含みます。

(注3) マザーファンドの金額および割合は、当該子ファンドの計算期間で算出。

■利害関係人との取引状況等（2023年12月26日から2024年2月8日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年2月8日現在）

償還日における有価証券の組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2024年2月8日現在

項 目	償 還 日	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 1,284,337	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,284,337	100.0

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

項 目	償 還 日
	2024年2月8日
(A) 資 産	1,284,337,218円
コール・ローン等	1,284,337,218
(B) 負 債	2,579,657
未払信託報酬	2,424,060
未払利息	2,587
その他未払費用	153,010
(C) 純資産総額(A-B)	1,281,757,561
元 本	683,528,283
償還差益金	598,229,278
(D) 受益権総口数	683,528,283口
1万口当たり償還価額(C/D)	18,752円08銭

■損益の状況

項 目	当 期	
	自 2023年12月26日 至 2024年2月8日	
(A) 配 当 等 収 益	△	2,587円
支 払 利 息	△	2,587
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益		48,033,135
売 買 益		55,631,471
売 買 損	△	7,598,336
(C) 信 託 報 酬 等	△	2,577,070
(D) 当期損益金(A+B+C)		45,453,478
(E) 前期繰越損益金		490,056,224
(F) 追加信託差損益金		62,719,576
(配当等相当額)	(65,063,442)
(売買損益相当額)	(△	2,343,866)
償還差益金(D+E+F)		598,229,278

(注1) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 期首元本額は900,849,694円、当作成期間中において、追加設定元本額は1,560,072円、同解約元本額は218,881,483円です。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2017年12月19日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年2月8日			資産総額	1,284,337,218円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	2,579,657円	
受益権口数	1,702,263,779口	683,528,283口	△1,018,735,496口	純資産総額	1,281,757,561円	
元本額	1,702,263,779円	683,528,283円	△1,018,735,496円	受益権口数	683,528,283口	
				1万口当たり償還金	18,752.08円	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	3,233,963,051円	3,289,379,095円	10,171円	0円	0.0000%	
第2期	2,783,416,856	2,303,840,823	8,277	0	0.0000	
第3期	2,429,836,716	2,368,149,693	9,746	0	0.0000	
第4期	1,934,654,321	2,049,834,414	10,595	0	0.0000	
第5期	1,687,143,340	1,607,438,049	9,528	0	0.0000	
第6期	1,336,406,303	1,491,848,483	11,163	0	0.0000	
第7期	1,205,842,157	1,679,555,393	13,928	0	0.0000	
第8期	1,134,334,591	1,725,665,811	15,213	0	0.0000	
第9期	1,058,741,441	1,518,370,583	14,341	0	0.0000	
第10期	999,553,859	1,412,224,780	14,129	0	0.0000	
第11期	943,945,243	1,598,164,615	16,931	0	0.0000	
第12期	900,849,694	1,629,328,418	18,087	0	0.0000	

■償還金のお知らせ

1万口当たり償還金	18,752円08銭
-----------	------------

◇個人の受益者については、償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分が課税対象となります。

◇税率は、個人の受益者については原則20.315%（所得税15.315%、地方税5%）です。

◇税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合もあります。

コクサイ計量株式 マザーファンド

親投資信託

第7期(信託終了日2024年2月7日)

作成対象期間: 2023年2月16日～2024年2月7日

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	2024年2月7日(繰上償還日)まで
運用方針	主として日本を除く世界各国の株式に投資し、MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)をベンチマークとして信託財産の長期的な成長をめざします。計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時に、ポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行います。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主要投資対象	日本を除く世界各国の株式
組入制限	①株式への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「コクサイ計量株式マザーファンド」は、2024年2月7日に償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先: 03-6437-6000(代表)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	ベンチマーク	期 騰 落 中 率	株 組 入 比 率	純 資 産 額
		%		%		
(設 定 日) 2017年9月8日	円 10,000	—	10,000	—	% —	百万円 1
1期(2018年2月15日)	10,475	4.8	10,428	4.3	98.7	75,644
2期(2019年2月15日)	10,677	1.9	10,819	3.8	98.4	52,075
3期(2020年2月17日)	12,435	16.5	13,189	21.9	98.9	27,815
4期(2021年2月15日)	13,893	11.7	14,892	12.9	99.1	30,021
5期(2022年2月15日)	16,449	18.4	18,009	20.9	98.8	62,546
6期(2023年2月15日)	17,876	8.7	19,827	10.1	98.6	44,664
(償 還 日) 7期(2024年2月7日)	(償還価額) 22,187.17	24.1	26,004	31.2	—	1,412

(注1) 本ファンドの設定日は2017年9月8日ですが、ポートフォリオ構築のタイミング等を考慮し、ベンチマーク(MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース))の計算開始日を2017年9月13日としています。

(注2) 株式組入比率には投資信託証券を含みます。

■当期中の基準価額と市況推移

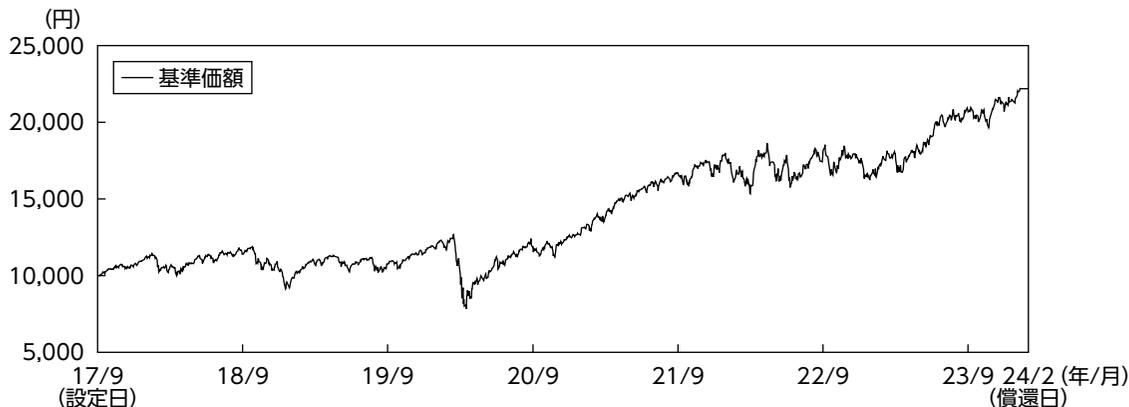
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	ベンチマーク	騰 落 率	株 組 入 比 率
		%		%	
(期 首) 2023年2月15日	円 17,876	—	19,827	—	% 98.6
2月末	17,832	△ 0.2	19,711	△ 0.6	98.9
3月末	17,606	△ 1.5	19,620	△ 1.0	98.4
4月末	17,923	0.3	20,154	1.7	98.8
5月末	18,724	4.7	21,118	6.5	98.8
6月末	20,295	13.5	22,795	15.0	98.7
7月末	20,516	14.8	23,147	16.7	98.9
8月末	20,808	16.4	23,549	18.8	98.9
9月末	20,461	14.5	22,982	15.9	98.6
10月末	19,813	10.8	22,217	12.1	98.9
11月末	21,199	18.6	23,959	20.8	99.0
12月末	21,427	19.9	24,415	23.1	99.6
2024年1月末	22,188	24.1	25,881	30.5	—
(償 還 日) 2024年2月7日	(償還価額) 22,187.17	24.1	26,004	31.2	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 本ファンドの設定日は2017年9月8日ですが、ポートフォリオ構築のタイミング等を考慮し、ベンチマーク(MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース))の計算開始日を2017年9月13日としています。

(注3) 株式組入比率には投資信託証券を含みます。

■設定以来の基準価額の推移について（2017年9月8日～2024年2月7日）



■前作成期末までの運用状況（2017年9月8日～2023年2月15日）

○投資環境

<外国株式市場>

外国株式市場は上昇しました。

2017年9月から2020年2月にかけては、米国債の利回り急上昇や米中貿易摩擦問題を背景に下落する局面もありましたが、緩やかな上昇基調となりました。2020年2月下旬になると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に外国株式市場は急落しました。2020年3月下旬以降は、大規模な資金供給策やワクチンの開発・実用化、経済活動再開の動きが相次ぎ、2021年末にかけて上昇基調が継続しました。

2022年になると、ロシアのウクライナ侵攻や中国での新型コロナウイルスの感染拡大を背景としたサプライチェーンの混乱懸念、世界的なインフレの高進、米欧の金融システム不安の台頭などを背景に2022年10月にかけて下落基調となりました。

2022年10月以降は、米国の物価関連指数が市場予想を下回ることが相次ぎ、利上げペースが鈍化するとの期待から、外国株式市場は買い戻しの動きが強まりました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、米ドル、ユーロ、英ポンドは円に対して上昇しました。

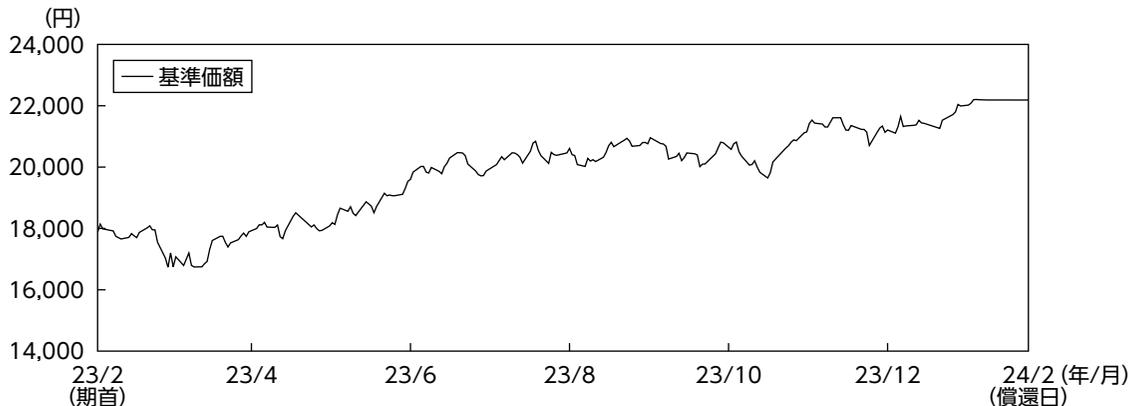
○運用状況【第1期～第6期】（2017年9月8日～2023年2月15日）

本ファンドは、主として日本を除く世界各国の株式に投資し、株式への投資割合は概ね高位に保ちました。運用においては、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時に、ポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行い、信託財産の長期的な成長をめざしました。その結果、当該期間のパフォーマンスは78.8%となりました。一方、ベンチマークのパフォーマンスは98.3%でした。

■当期の運用経過

◆基準価額の推移について

(2023年2月16日～2024年2月7日)



◆基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の17,876円から上昇し、償還日には22,187円17銭となりました。

上昇要因

外国為替市場において主要通貨が対円で上昇したこと、フランスやノルウェーにおける銘柄選択効果がプラス寄与となったことが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

アメリカ、カナダ、スウェーデンにおける銘柄選択効果がマイナス寄与となったことなどが基準価額の下落要因となりました。

◆投資環境について

＜外国株式市場＞

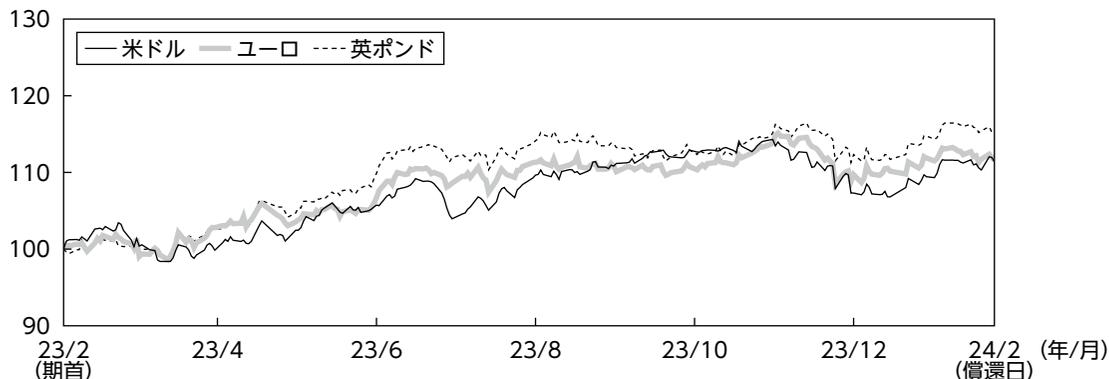
当期の外国株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。

2023年3月上旬に米国カリフォルニア州のシリコンバレー銀行およびニューヨーク州のシグネチャー・バンクの2行が金融当局から破綻認定を受けると外国株式市場は急速に調整色を強めました。さらにこの金融不安は欧州の大手商業銀行にも向かいました。この際、2022年を通じてアウトパフォームしていた銀行株が世界的に大きく調整しましたが、スイス金融当局主導でUBSがクレディスイスを救済合併すると発表したことでいったん不安感は後退し、外国株式市場は3月末にかけて月間のマイナスを概ね回復しました。4月になると、米国におけるインフレ鎮静化への期待や、米大手銀行や米大手テクノロジー企業の決算内容が概ね好調だったことを好材料に反発しました。5月はFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが決定され、追加利上げへの警戒感が高まったことや、中国の経済指標が市場予想を下回ったことなどが悪材料となり、外国株式市場は小幅下落となりました。6月はFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ見送りや、米債務上限問題の決着などが支えとなり、外国株式市場は主にテクノロジー関連銘柄を中心に上昇しました。7月は、米CPI（消費者物価指数）の伸び率が鈍化したことにより、利上げの停止が近づいているとの見方が強まったことで投資家心理が改善し、外国株式市場は上昇しましたが、8月になると格付け機関のフィッチによる米国債の格下げ、中国不動産大手の信用不安などが意識され、外国株式市場は下落しました。さらに、9月には、米連邦議会において政府機関閉鎖の危険性が高まったことや、10月にはハマスとイスラエルの武力衝突やそれに付随する原油価格の上昇、インフレ継続への警戒感、米金利上昇などが嫌気され、外国株式市場は下落傾向が継続しました。11月以降は、米国のCPIが市場予想を下回りFRBの追加利上げ観測が後退し、米国債利回りが低下傾向に転じ、2023年末にかけて外国株式市場は上昇しました。2024年になると、1月上旬の米ハイテク関連銘柄の下落や、米金融当局の利下げに対する慎重な見方などが一時的に市場の重しとなったものの速やかに上昇に転じ、外国株式市場は期末まで上昇を続けました。

＜外国為替市場＞

外国為替市場では、米ドル、ユーロ、英ポンドは円に対して上昇しました。

○為替レート（対円）の推移



(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

出所：一般社団法人投資信託協会

◆ポートフォリオについて

本マザーファンドでは、日本を除く先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）を長期的に上回る投資成果を獲得することをめざしました。また、1月中旬以降は、繰上償還に向けて現金化を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当期の本ファンドのパフォーマンスは+24.1%となり、ベンチマーク（+31.2%）を下回りました。当期はフランスやノルウェーにおける銘柄選択効果がプラス寄与となった一方、アメリカ、カナダ、スウェーデンにおける銘柄選択効果はマイナス寄与となりました。加えて、1月中旬以降はファンドにおける資産を現金化したため、株式市場の上昇に対して劣後する結果となりました。以上のような運用の結果、信託期間終了時における償還価額は22,187円17銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2024年2月7日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年2月16日～2024年2月7日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	13円 (11) (2)	0.065% (0.053) (0.012)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (株式)	7 (7)	0.035 (0.035)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	8 (7) (0)	0.038 (0.037) (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	28	0.138	

期中の平均基準価額は19,899円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 株式には投資信託証券を含みます。

■ 売買及び取引の状況 (2023年2月16日から2024年2月7日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付		
		株 数	金 額	株 数	金 額	
外	ア メ リ カ	百株 8,122 (54)	千米ドル 67,859 (1,254)	百株 38,420 (48)	千米ドル 310,735 (1,276)	
	カ ナ ダ	1,749	千カナダドル 7,951	2,249	千カナダドル 10,643	
国	ユ ー ロ	ド イ ツ	962	千ユーロ 3,846	千ユーロ 1,612 (-) (0.271)	
		イ タ リ ア	292	486	7,026	3,274
		フ ラ ン ス	649	4,985	4,153	24,201
		オ ラ ン ダ	714	2,910	1,851	10,683
		ス ペ イ ン	231	348	3,220	4,682
		ベ ル ギ ー	110	124	110 (-)	125 (0.584)
		オーストリア	34	87	423	637
		ルクセンブルク	471	745	471	650
		フィンランド	237	241	237	243
		ポルトガル	58	78	58	78
そ の 他	21	70	21	65		

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	イギリス	百株 1,786	千英ポンド 780	百株 5,479 (-)	千英ポンド 6,816 (6)
	スイス	447 (5)	千スイスフラン 1,834 (13)	1,942 (-)	千スイスフラン 9,223 (13)
	スウェーデン	1,136	千スウェーデンクローナ 17,431	8,373	千スウェーデンクローナ 161,731
	ノルウェー	1,540	千ノルウェークローネ 5,655	2,221 (-)	千ノルウェークローネ 29,137 (37)
	デンマーク	158	千デンマーククローネ 8,534	375	千デンマーククローネ 29,468
	オーストラリア	5,851	千オーストラリアドル 5,628	13,973	千オーストラリアドル 17,215
	香港	561	千香港ドル 3,609	561	千香港ドル 3,610
	シンガポール	180	千シンガポールドル 517	180	千シンガポールドル 499

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 株式には投資信託証券を含みます。

(2) 先物取引の銘柄別取引状況

		買 建		売 建		
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額	
外 国	株式先物取引	S&P 500 EMINI	百万円 24,325	百万円 24,243	百万円 4,279	百万円 4,260
		S&P/TSE 60	737	738	808	812
		SPI 200	69	70	1,055	1,054
		FTSE 100	284	285	2,315	2,313
		HANG SENG	111	112	668	671
		EURO STOXX 50	6,499	6,518	813	805

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 外国の取引金額は、各月中の取引額を当該月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	72,757,016千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	10,320,607千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	7.04

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 株式には投資信託証券を含みます。

■主要な売買銘柄 (2023年2月16日から2024年2月7日まで)
株 式

当				期			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	12	495,886	40,972	APPLE INC	86	1,863,981	21,615
CVS HEALTH CORP	30	336,073	10,977	MICROSOFT CORP	38	1,516,997	39,373
ROYAL BANK OF CANADA	22	306,199	13,918	AMAZON.COM INC	66	949,510	14,358
NVIDIA CORP	8	275,450	31,880	ALPHABET INC-CL C	52	748,230	14,366
QANTAS AIRWAYS LTD	389	236,668	606	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	16	722,942	42,759
MICROSOFT CORP	3	183,931	47,331	ASML HOLDING NV	6	616,369	88,166
SAFRAN SA	8	167,844	19,644	ADOBE INC	11	599,147	50,835
BANK OF AMERICA CORP	37	146,327	3,885	PALO ALTO NETWORKS INC	22	597,407	26,599
DASSAULT SYSTEMES SE	24	137,102	5,499	COSTCO WHOLESALE CORP	8	588,626	68,002
VISA INC-CLASS A SHARES	3	133,485	34,680	LOCKHEED MARTIN CORP	9	586,267	64,044

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 株式には投資信託証券を含みます。

■利害関係人との取引状況等 (2023年2月16日から2024年2月7日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2024年2月7日現在)

償還日における有価証券の組入れはありません。

